

令和2年度の予算が決定しました

予算総額は194億1,210万円

一般会計：110億 600万円

特別会計：70億7,440万円

企業会計：13億3,170万円

養老町議会第1回定例会は、3月3日に開会され、最終日の19日（木）、一般会計110億600万円、8つの特別会計および2つの企業会計合わせて84億610万円にのぼる令和2年度予算が可決されました。ここでは、承認された新年度予算について、その概略をご紹介します。



基本姿勢・運営方針

大橋町長は、今年度の施政方針の中で、「魅力あるまちづくりを目指し、昨年度新たに特命事項推進監を設置し、部や課を横断したチームで課題等の検討に取り組みしました。職員が自主的かつ創造的に職務と向き合うことで、組織の活性化に資するものであり、ひいては町民の満足感の向上、何よりも重要な安心・安全へとつながるものであります。今年度においてもブラッシュアップした形で継続してまいります。」と基本姿勢を示しました。

続いて、町政の運営方針として、「①「養老町第五次総合計画（通称：絆プラン）」の最終年度として成果をまとめ上げるとともに、各施策の着実な推進に取り組んでまいります。②「協働のまちづくり」「町民主役のまちづくり」を目指し、地域自治町民会議の設立と運営について、今後も強力に支援してまいります。③養老公園が開園140周年を迎え、本町にとっても観光ビッグイヤーといえます。それぞれの機会に養老の特色を活か

した魅力ある事業を展開し、交流人口・関係人口の拡大を図ります。」と述べました。

予算のあらまし

予算の内訳は、一般会計が110億600万円、特別会計・企業会計が合わせて84億610万円で、予算総額は194億1210万円となっています。

一般会計が前年度比14.7%減、特別会計及び企業会計は、前年度比4.6%増、総額は前年度比7.3%減となっています。

一般会計予算の歳入面では、町税については前年度から微増の34億185万8千円を計上、地方交付税については、前年度比1.7%増の22億900万円を見積もりました。

また、町債については緊急防災・減災事業債、地方道路等整備事業債、児童福祉施設整備事業債、保健体育施設整備事業債など、総額で9億9300万円を計上しました。